

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式 2)

施設名: 南大沢文化会館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

| NO. | 期末モニタリング細目番号 | 評価月 | 評価項目 | 具体的な事業内容と成果目標・指標 | 確認資料等 | 4~7月 | | | | | | | | |
|-----|------------------|--------|-------------|--|---------------------|------------|---|-------|--|------------|----|-------|------|-------|
| | | | | | | 指定管理者の自己評価 | | 所管課評価 | | 改善プラン | | 所管課確認 | | |
| | | | | | | 評価区分 | コメント | 評価区分 | コメント | 改善・指摘事項の有無 | 時期 | 内容 | 対応状況 | 次年度対応 |
| 1 | VI-25 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。 | マニュアル 担当者へのヒアリング | B | | B | | 無 | | | | |
| 2 | VI-27 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。 | 報告書 | B | | B | | 無 | | | | |
| 3 | II-11 | 7.11.3 | 適正な施設管理・運営 | 【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 ⇒公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施) | マニュアル 担当者へのヒアリング | A | 「利用確定日」を設け、支払義務発生次期を明確にすることで、未払い者の直前キャンセル等を未然に防ぎ、より公正さを期するものとして申込受付の変更を実施した。その結果として、利用者より、早く払った人が損をするような不公平感が無くなったなどの声がある。 | A | 施設利用の公平性を保つため、「利用者確定日」を設け、支払義務発生時を確定する見直しを行ったことは評価する。今後もマニュアルを活用し公平性に配慮した市民サービスに努めること。 | 無 | | | | |
| 4 | I-8 | 7.11.3 | 安定した施設管理・運営 | 【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。 | 月例報告書 | A | 第三者への委託にあたっては、23年度より、複数年契約を行ったことから、設備の状況を継続して把握でき、優先順位をつけて、緊急修繕を行なっている。 | B | | 無 | | | | |
| 5 | V-22 | 7.11.3 | 環境配慮 | 【エコ活動】 LAS-EIにそった環境配慮行動を実施する。 | 月例報告書 | B | 7/15から「はちおうじまちなか避暑地」として市民ロビーを開放した。 | B | | 無 | | | | |
| 6 | IV-20 | 7.11.3 | 効率的な施設管理・運営 | 【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策) | 月例報告書 担当者へのヒアリング | B | | B | | 無 | | | | |
| 7 | III-13 III-14 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。 | 月例報告書 | A | ・4/23交流ホールで譜面台等が見えやすくなるよう照度アップした。その結果、舞台面利用で多く使っている学生団体から、好評を得ている。 ・5/15前年度に引き続き首都大学東京のシステムデザイン学部の学生と館内表示改善の打合せを行った。10月に利用者を対象にモニタリング実施を予定している。 ・5/28出入口を使用する利用者から、別施設のバスの運転手の対応や言葉遣いが怖いとクレームが入った。施設の責任者に改善の依頼をし、運転手に今後は利用者との直接のやり取りをしないよう要請した。 | A | 交流ホール電灯のLED化は、節電を図るとともに、利用者のニーズに応える形での改善であり評価できる。今後も可能な限り利用者のニーズに応え、使いやすいホールにすること。 | 無 | | | | |
| 8 | IV-19 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進①】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取り組み | 報告書 | A | ・柚木の三つの住民協議会を中心とした実行委員会によるフラワーフェスティバル由木に館としても交流ホールにおいて、おやしんどフェスティバルで参加(入場料無料)。地域住民との連携を図りながら運営し大盛況であった。 ・ロビーコンサートを当期4ヶ月間に16回実施。5月からアンケートを実施した。アンケートでは、満足度97.3%と好評であった。 ・南大沢モーニングコンサートvol6~ピアノ名曲集~を南大沢協力の会の会のみずほ銀行南大沢支店と地域連携事業として実施(来客数は133名) | B | | 無 | | | | |
| 9 | III-18 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進②】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。 | 月例報告書 | A | ・4月から毎月1回南大沢中学校の学校運営協議会に参加し、会館事業のPRを行った。 ・月1回南大沢協力の会に参加し、会館事業のPRを行った。 ・会館の事業のPR及び貸館の営業を目的に会館周辺の幼稚園9箇所、小学校15校、大学のサークル、楽器店などへ訪問営業を行った。(参考、7月の主ホール日数利用率100%) ・近隣の4つの小学校の社会科見学を受け、その際に会館の子供向け事業のPRを行った。 ・7月、南大沢文化会館実施の事業をPRするためプレスリリースを実施した。 ・7月発売開始の「TSUKEMEN」について、市内団体の他、会場に近い近隣市(稲城市・日野市等)勤労者会への営業を実施し、チケット販売促進及び事業PRに努め完了した。 ・ホールの利用向上を目的に、チラシを作成し、打合せや見学、営業の際などのPRで活用している。 | A | 地域イベントにおけるコンサートPR活動、多方面への積極的な営業活動、舞台面利用の案内チラシの作成などを行った結果、利用率向上につながっている。今後も様々な工夫を行い、積極的なPR活動に取り組むことを期待する。 | 無 | | | | |

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式 2)

施設名: 南大沢文化会館

11月

| NO. | 期末モニタリング細目番号 | 評価月 | 評価項目 | 具体的な事業内容と成果目標・指標 | 確認資料等 | 8~11月 | | | | | | | | |
|-----|------------------|--------|-------------|--|---------------------|------------|---|-------|---|------------|----|-------|------|-------|
| | | | | | | 指定管理者の自己評価 | | 所管課評価 | | 改善プラン | | 所管課確認 | | |
| | | | | | | 評価区分 | コメント | 評価区分 | コメント | 改善・指摘事項の有無 | 時期 | 内容 | 対応状況 | 次年度対応 |
| 1 | VI-25 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。 | マニュアル 担当者へのヒアリング | B | | B | | 無 | | | | |
| 2 | VI-27 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。 | 報告書 | A | ・9/19震災をテーマに文化庁・全公文書のアートマネジメント研修に参加。ミーティング等で周知を行う。 ・9/24横浜みなとみらいホールが主催する避難訓練コンサートに参加。運営方法を情報交換し、今後の財団の防災対策の参考にする。 ・11/15消防訓練の際、上記研修の内容を活かし、実践的な消防訓練を行った。 | A | 研修及び他団体の訓練に参加し、その内容を活かした防災訓練を実施したことは評価できる。 | 無 | | | | |
| 3 | II-11 | 7.11.3 | 適正な施設管理・運営 | 【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 ⇒公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施) | マニュアル 担当者へのヒアリング | A | ・引き続きキャンセル制度の「利用確定日」等について、丁寧な対応を行った結果、昨年の4~9月同時期対比でキャンセル件数が197件減になるなど、利用者に公平な利用機会の確保を図った。 | A | 施設利用の公平性を保つため、「利用者確定日」を設け、支払義務発生時を確定する見直しを行ったことは評価する。今後も作成したマニュアルを活用し公平性に配慮した市民サービスに努めること。 | 無 | | | | |
| 4 | I-8 | 7.11.3 | 安定した施設管理・運営 | 【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。 | 月例報告書 | B | | B | | 無 | | | | |
| 5 | V-22 | 7.11.3 | 環境配慮 | 【エコ活動】 LAS-EIにそった環境配慮行動を実施する。 | 月例報告書 | A | ・7~8月主ホールのホワイエの省エネ対策として、ゴーヤを植えて、緑のカーテンを作った。景観も含め、利用者から好評であった。 | A | ゴーヤを利用した緑のカーテンは、環境に配慮する姿勢であるとともに、景観も含め利用者の満足度向上にもつながる。来年は、省エネ対策の効果を数値的に示せるよう努めること。 | 無 | | | | |
| 6 | IV-20 | 7.11.3 | 効率的な施設管理・運営 | 【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策) | 月例報告書 担当者へのヒアリング | B | | B | | 無 | | | | |
| 7 | III-13 III-14 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。 | 月例報告書 | A | ・9月に利用者の意見を館運営に反映し、一層のサービス向上を図るべく、「意見箱」を設置した。 ・10/14練習室のバレー用シートが汚れているとの苦情があり、17日に水洗い清掃を行った。 ・8月以降も毎月首都大の学生と館内表示改善の打合せを行ない、11月に首都大の学生に体験者(30名)になってもらい、館内の表示を見る視線を計測する機材を持ち込み3日間モニタリング実施した。 ・利用者満足度調査を実施し、改善に努めた。 | A | 利用者の意見を集約する「意見箱」の設置は評価できる。より多くの方の意見を集めるため、設置場所や表示などを検討すること。 | 無 | | | | |
| 8 | IV-19 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進①】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み | 報告書 | A | ・8/8地域の小学生を対象に夏休みボックス テーザツアーを開催。この内容の研修を後日職員と学生インターンにも研修を行なった。 ・8~11月h26ダンスワークショップの指導者探しの協力依頼に東京工科大学に相談に行き、学生4名に承諾してもらった。 ・ロビーコンサートを当期4ヶ月間に20回実施。アンケートでは、満足度97.9%と好評であった。 ・特に10/5の総合センター祭に参加した特別ロビーコンサートでは、オペラ権威のプレロビーコンサートなど、3団体出演し盛況であった。 ・9/28地域の6青少年を集めて、南大沢音楽祭の開催に向けて説明会を行った。・10/9南大沢音楽祭に向け松が谷の青少年と打合せを行う。・10/8南大沢音楽祭に向け由木の青少年と打合せを行う。・11/30南大沢音楽祭実施について、6青少年から賛同を得た。・10/13、11/24に子供生花教室を実施。親子の参加もあり、一回目から全ての参加者の作品が完成し、参加者も満足している様子が伺えた。(1回目2名、2回目2名を参加)・8/30南大沢モニタリングコンサートvol17フルート・ヴァイオリン・ピアノによる子供向けファミリーコンサートをこの日より館の主催で行った。 ・10/4/南大沢モニタリングコンサートvol18クラシックギターを10張で演奏。Vol17と共に南大沢協力の会のみずほ銀行南大沢支店と地域連携事業として実施。 | A | 地域との連携を大切に取組みは評価できる。利用者増につながることを期待されるので、今後も続けること。 | 無 | | | | |
| 9 | III-18 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進②】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。 | 月例報告書 | A | ・引き続き毎月1回南大沢中学校の学校運営協議会に参加し、会館事業のPRを行った。 ・引き続き毎月1回南大沢協力の会に参加し、会館事業のPRを行った。 ・共催(0才からのjazz)のチケット販売促進を目的に南大沢保育園他4箇所に営業 ・8月に生花教室及びh26南大沢木音楽祭開催に向け小学校15校に営業を行う ・9月に南大沢音楽祭の開催に向けた相談に地域の中学校7校に訪問した。 ・モニタリングコンサートvol17では、9つの幼稚園に営業に行き来場者は178名。 ・モニタリングコンサートvol18では、南大沢地域・八王子市内の楽器店や教室に営業に行き来場者は、140名。 ・主催事業のチラシ作成は全て館で行っている。 | A | 積極的な営業活動を行うことで、学校や町会など地域とのネットワークを築き、更なる利用者向上が期待できる。イベントのチラシはデザインが良いので、引き続き工夫を行い積極的なPR活動に取り組むこと。 | 無 | | | | |

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式 2)

施設名: 南大沢文化会館

3月

| NO. | 期末モニタリング細目番号 | 評価月 | 評価項目 | 具体的な事業内容と成果目標・指標 | 確認資料等 | 12~3月 | | | | | | | | |
|-----|------------------|--------|-------------|--|---------------------|------------|---|-------|---|------------|----|-------|------|-------|
| | | | | | | 指定管理者の自己評価 | | 所管課評価 | | 改善プラン | | 所管課確認 | | |
| | | | | | | 評価区分 | コメント | 評価区分 | コメント | 改善・指摘事項の有無 | 時期 | 内容 | 対応状況 | 次年度対応 |
| 1 | VI-25 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。 | マニュアル 担当者へのヒアリング | B | | B | | 無 | | | | |
| 2 | VI-27 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。 | 報告書 | A | ・1/27の休館日にいちごホールで震災を想定した財団全体の避難訓練を実施。南大沢文化会館の職員も6名参加し、有事の際の対応について、財団内で情報共有が図れた。 この訓練は、南大沢文化会館の職員がみなとみらいホールで行われた避難訓練コンサートに参加し、そこから収集した資料を財団に提出し、そこでの経験を踏まえた内容として実施された。 ・2/8・15降雪のため会館入口及び搬入口駐車場の雪かきを実施。特に2/8の雪の被害が大きかったが職員が徒歩などで出勤し、開館した。 利用できなかったお客様へは還付を迅速に対応した。 ・1月にサービス介助士2級取得2名 | A | 南大沢文化会館の職員が他団体の避難訓練に参加し、その経験を情報共有のもと、ふれあい財団全体での防災訓練に活かしたことは評価できる。 また、サービス介助士2級を2名が取得したことで、職員12名中11名が取得した。安全安心な館の運営のための職員育成は評価する。 | 無 | | | | |
| 3 | II-11 | 7.11.3 | 適正な施設管理・運営 | 【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 ⇒公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施) | マニュアル 担当者へのヒアリング | A | ・引続きキャンセル制度の「利用確定日」等について、丁寧な対応を行った結果、キャンセル件数が平成24年度より496件減になるなど、利用者により公平な利用機会の確保を図った。また、PDCAサイクルとして導入後の検証を行うため事務担当者会議を行い、制度のブラッシュアップを図り、利用の公平性の向上に努めた。 | B | | 無 | | | | |
| 4 | I-8 | 7.11.3 | 安定した施設管理・運営 | 【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。 | 月例報告書 | B | | B | | 無 | | | | |
| 5 | V-22 | 7.11.3 | 環境配慮 | 【エコ活動】 LAS-EIにそった環境配慮行動を実施する。 | 月例報告書 | B | | B | | 無 | | | | |
| 6 | IV-20 | 7.11.3 | 効率的な施設管理・運営 | 【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策) | 月例報告書 担当者へのヒアリング | B | | B | | 無 | | | | |
| 7 | III-13 III-14 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。 | 月例報告書 | A | ・3/14首都大の学生と館内表示改善の打合せを行い、ロビーの景観の改善や26年度の館内の表示の改善の方向性について打合せを行った。 ・利用者へのサービス向上となることを目的に坂戸市文化会館へ視察を行った。 ・3/24利用者からの要望もあり、展示室の塗装を行った。 | A | 利用者満足度調査の結果をもとに、施設内の改修を迅速に行ったことは評価できる。 | 無 | | | | |
| 8 | IV-19 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進①】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取り組み | 報告書 | A | ・地域の小学生を対象に、生け花教室を10月から毎月行い、3/30に展示発表会を開催した。(教室は5回で138名参加し、発表会では94名が来館した) ・2/7南大沢モーニングコンサートvol9「ヴァイオリンピアニスが奏でる春の調べ」を南大沢協力の会のみずほ銀行南大沢支店と協力して開催し、来場者は135名。 ・ロビーコンサートを当期4ヶ月間に11回実施、アンケートでは、満足度96.7%と好評であった。 ・h26ダンスワークショップの開催に向け、東京工科大学の学生と準備を進め事業化にこぎつけた。 ・12/25南大沢音楽祭の開催の協力を各団体に依頼しており、その準備に向けて、松が谷青少年対策委員会の会長・副会長と打合せを行った。 ・利用率向上策として、舞台スタッフによる音響や照明のプランニングなどのきめ細やかなサービスや舞台面利用を促進するために、PR用のチラシの作成、チェックアウトの際に次回利用の促進や空き情報の提供などの声掛けをするなど、リピーターの囲い込みを目的に、日々の業務に努めた。 | A | 地域に合った事業を多く行い好評をえていることや、利用者満足度調査で「関心のある催し物」のジャンルについて、新年度の事業化にこぎつけたことは評価できる。今後も、地域との連携を大切にし、利用者増につなげることを。また、リピーターの囲い込みを目的に職員一丸で声掛けを行っている取り組みは、利用者増につながることを期待されるので、今後も続けてもらいたい。 | 無 | | | | |
| 9 | III-18 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進②】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。 | 月例報告書 | A | ・h26ダンスワークショップの開催に向け、地域の小学校16校、中学校8校に営業を行い、地域の小中学生54名の応募があった。 ・南大沢町会で催物予定表の回覧(1500世帯)をはじめた。 ・撮影の予約に柔軟に対応し、今年度18件の利用があり、館の知名度アップにもつながった。 ・平成25年度は地域の幼稚園・小中学校・青少年対策委員会・南大沢協力の会などに事業のPRや営業活動を行った結果、今年度主ホール利用率が前年度より7.4ポイント増となった。 ・毎月1回南大沢中学校の学校運営協議会に参加し、会館事業のPRを行うなど地域連携の構築に努めた。 ・毎月1回南大沢協力の会に参加し、会館事業のPRを行うなど地域連携の構築に努めた。 | A | 積極的な営業活動を行ったことで、学校や町会とのネットワークが築け、町会の回覧板への催し物掲載や、新年度ワークショップの参加者を集めたことを評価する。今後も多方面への積極的な営業活動を行い、利用率向上につなげることを。 | 無 | | | | |

25年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式 2)

施設名: 南大沢文化会館

| NO. | 期末モニタリング細目番号 | 評価月 | 評価項目 | 具体的な事業内容と成果目標・指標 | 確認資料等 | 所管課年間評価 | | 備考 |
|-----|------------------|--------|-------------|--|---------------------|---------|--|----|
| | | | | | | 評価区分 | コメント | |
| 1 | VI-25 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。 | マニュアル 担当者へのヒアリング | B | | |
| 2 | VI-27 | 7.11.3 | 安全安心・危機管理 | 【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。 | 報告書 | A | 職員が防災に対する危機感を持ち、他市の団体の先進的な訓練に参加し、その内容を活かした実践的な訓練を館で行ったことや、財団全体に情報共有を図り、財団全体の防災訓練にも波及させたことは評価に値する。また、利用者の安心のため、サービス介助士2級を職員12名中11名が取得したことも評価できる。今後も危機管理意識の向上に努め、防災訓練等を計画的に行い、安全安心な館運営を行うこと。 | |
| 3 | II-11 | 7.11.3 | 適正な施設管理・運営 | 【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 ⇒公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施) | マニュアル 担当者へのヒアリング | A | 施設利用の公平性を保つため、「利用者確定日」を設け、支払義務発生時を確定する見直しを行い、キャンセル件数が平成24年度より496件減になったことを評価する。今後も導入後の検証を行い、引き続き公平性に配慮した市民サービスに努めること。 | |
| 4 | I-8 | 7.11.3 | 安定した施設管理・運営 | 【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。 | 月例報告書 | B | | |
| 5 | V-22 | 7.11.3 | 環境配慮 | 【エコ活動】 LAS-EIにそった環境配慮行動を実施する。 | 月例報告書 | B | | |
| 6 | IV-20 | 7.11.3 | 効率的な施設管理・運営 | 【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策) | 月例報告書 担当者へのヒアリング | B | | |
| 7 | III-13 III-14 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。 | 月例報告書 | A | 利用者のニーズに応える形で、積極的に施設内の改修を行ったことや、多くの利用者の意見を集約するため「意見箱」を設置し、より一層のサービス向上へ努めたことは評価できる。また、懸案である施設内の経路のわかりにくさについて、首都大学の学生と26年度の実施に向けて、館内表示改善の打合せ等を年間を通して行ったことは評価できる。引き続き市の施設管理者として、利用者のニーズに応えた使いやすいホールのために対策を講じ、サービス向上に努めること。 | |
| 8 | IV-19 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進①】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取り組み | 報告書 | A | 地域文化の向上のために、モーニングコンサートなどの市民参加型事業を行い、多くの来場者が「訪れ好評をえていることや、地域の子供たちを対象に、劇場の楽しさを知ってもらう「夏休みバックステージツアー」、伝統文化の継承のための、「こどもいけばな教室」を行ったことは評価できる。また、次年度に向け、館の特性や地域性を活かした事業への調整を行い、実施につなげたことも評価できる。今後も、館の設置目的に沿った自主事業を積極的に行うことを期待する。 | |
| 9 | III-18 | 7.11.3 | サービス向上・利用者増 | 【利用促進②】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。 | 月例報告書 | A | 舞台面利用の案内チラシの作成といったPRの工夫や、地域団体との関係構築に力を注ぎ、多方面への積極的な営業活動を行ったことは評価できる。町会のリニューアルで催物予定表を周知できるほど、地域との関係が築かれてきたことが、前年度より7.4%増という利用率向上にもつながったと思われる。今後も、地域との連携を進めながら、様々な工夫を行い、積極的なPR活動に取り組み、より一層の利用率向上に結び付けることを期待する。 | |